



# 要配慮者利用施設における避難の実効性確保について

(タイムラインを作成しよう！)

令和4年8月4日

# 要配慮者利用施設における避難確保の重要性

## ●避難確保が不十分 ・利用者に多くの犠牲者が出た事例

H28台風10号 岩手県岩泉町 楽ん楽ん



- ・避難情報の理解が不十分
- ・水害を想定していない

R2.7月豪雨 熊本県球磨村 千寿園



- ・土砂災害は想定していたが、水害は想定せず

## ●避難確保が十分 ・利用者や職員が安全に避難できた事例

R元台風19号 埼玉県川越市  
川越キングスガーデン



- ・避難確保計画作成、毎年避難訓練実施



# 要配慮者利用施設における避難確保の重要性

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域、津波災害警戒区域内に位置し、地域防災計画に定められた施設には、洪水・雨水出水・高潮・土砂災害・津波に対する避難確保計画を作成し、市町村に報告することが義務付けられています。
- また、訓練を実施し、その結果を市町村に報告することが義務付けられています。
- まずは、従事している施設の避難確保計画を確認しましょう。

施設管理者

- 避難確保計画の作成
- 避難訓練の実施



【ポイント】

既存の非常災害対策計画や消防計画、学校の危機管理マニュアル等と一体的に作成することが可能です。

市町村

- ・ 避難確保計画の報告
- ・ 訓練結果の報告

〇〇防災課



助言・勧告等



# 那賀町における災害リスク

那賀町の災害リスクとしては、地震、水害（洪水・雨水出水）、土砂災害などが考えられますが、本日は次の2つに対する避難確保の重要性についてお話しします。

## 土砂災害

### 水害（洪水）



R2.7 球磨川（熊本県人吉市）

### ①土石流



2014年 広島土砂災害(広島県広島市)

### ②がけくずれ



1986年 鹿児島豪雨災害(鹿児島県鹿児島市)

### ③地すべり



1995年 地附(ちづき)山地すべり(長野県長野市)



# ●日頃の備えと早めの避難

平

施設の**水害・土砂災害リスクを知る**  
(ハザードマップなど)

**洪水** ①浸水深 ②浸水継続時間 ③家が壊れる区域  
**土砂災害** 土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)



時

・避難確保計画の作成

①防災体制

②避難場所 ③避難方法・経路 ④避難のタイミングなど

・避難教育・訓練の実施



※設備・装備品・備蓄品・持ち出し品等の準備も必要です

大

雨

時

テレビやインターネットなどで情報を集める

①大雨や台風の情報 ②河川の情報 ③避難情報



避難のタイミングになったら(※)

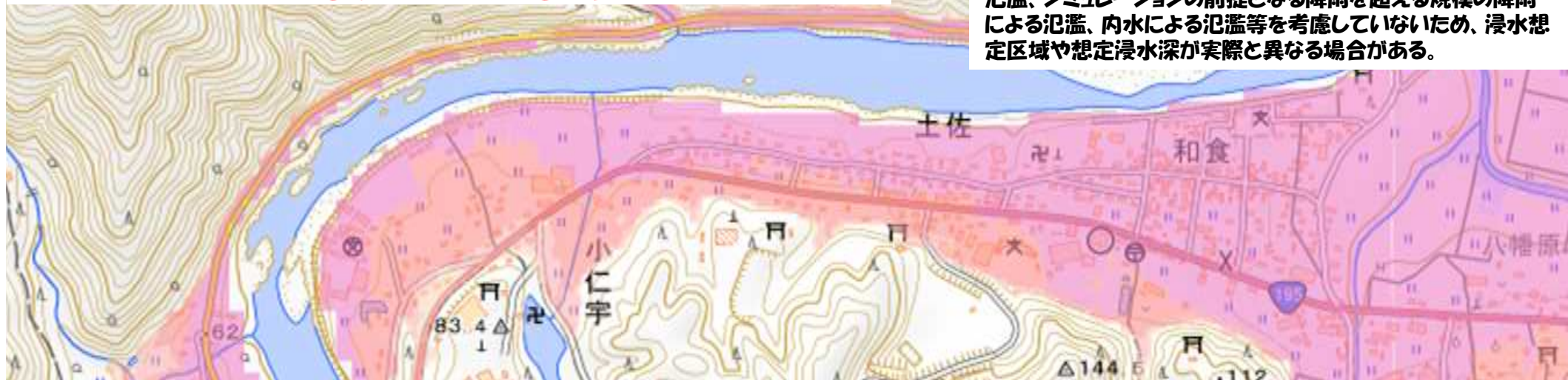
**早めに避難**

(※)避難のタイミング前でも危険と感じたら避難を開始することが大切

# 那賀川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

※想定される浸水区域と浸水深がわかる

このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していないため、浸水想定区域や想定浸水深が実際と異なる場合がある。



- 浸水深が0.5～3.0m未満の場合は、1階の居室が浸水
- 浸水深が3.0～5.0m未満の場合は、2階の居室が浸水
- 浸水しない避難スペースがない場合は、屋内安全確保は×



凡 例	
浸水した場合に想定される水深	
	20.0m以上
	10.0m～20.0m
	5.0m～10.0m
	3.0m～ 5.0m
	0.5m～ 3.0m
	0.5m未満



# 那賀川洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)

※浸水する時間がわかる



- 浸水時間が長くなると水や食糧、薬等の確保が困難
- 電気・ガス・水道・トイレ等の使用できない時間が長くなるおそれ
- 屋内安全確保の場合は浸水継続時間に応じた対策が必要

## 凡 例

想定最大規模の洪水に対する浸水継続時間

	～ 12時間
	12時間 ～ 24時間(1日)
	24時間(1日) ～ 72時間(3日)
	72時間(3日) ～ 168時間(1週間)
	168時間(1週間) ～ 336時間(2週間)
	336時間(2週間) ～ 672時間(4週間)



なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していないため、想定される浸水継続時間や浸水想定区域が実際と異なる場合がある。



# 那賀川洪水浸水想定区域図(家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流))

※堤防が決壊した場合に、氾濫流で家(木造)が壊れる区域がわかる

なお、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意する必要がある。



●この区域内では、屋内安全確保は×

氾濫した洪水の流速が早く、木造家屋が倒壊するおそれのある区域



出典)平成27年9月関東・東北豪雨(鬼怒川)



8

凡例  
浸水した場合に想定される家屋倒壊氾濫想定  
家屋倒壊等氾濫想定区域



# 那賀川洪水浸水想定区域図(家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食))

## ※河岸の侵食により家が壊れる区域がわかる

なお、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意する必要がある。



## ●この区域内では、屋内安全確保は×

洪水の際に河岸が削られて、家屋が倒壊するおそれのある区域



河岸侵食

出典)平成28年8月北海道大雨(十勝川)



9

### 凡例

河岸侵食による家屋倒壊氾濫想定区域

家屋倒壊等氾濫想定区域



# 自宅の水害リスクを知る → 那賀町ハザードマップ(ウェブ)



●中小河川では、現在、洪水浸水想定区域図が作成されていません。このため、中小河川の周辺では、ハザードマップに色塗りがされていなくても浸水のおそれがあることに注意が必要

クリック

<https://gis.chklab.com/ChkMap/naka/>

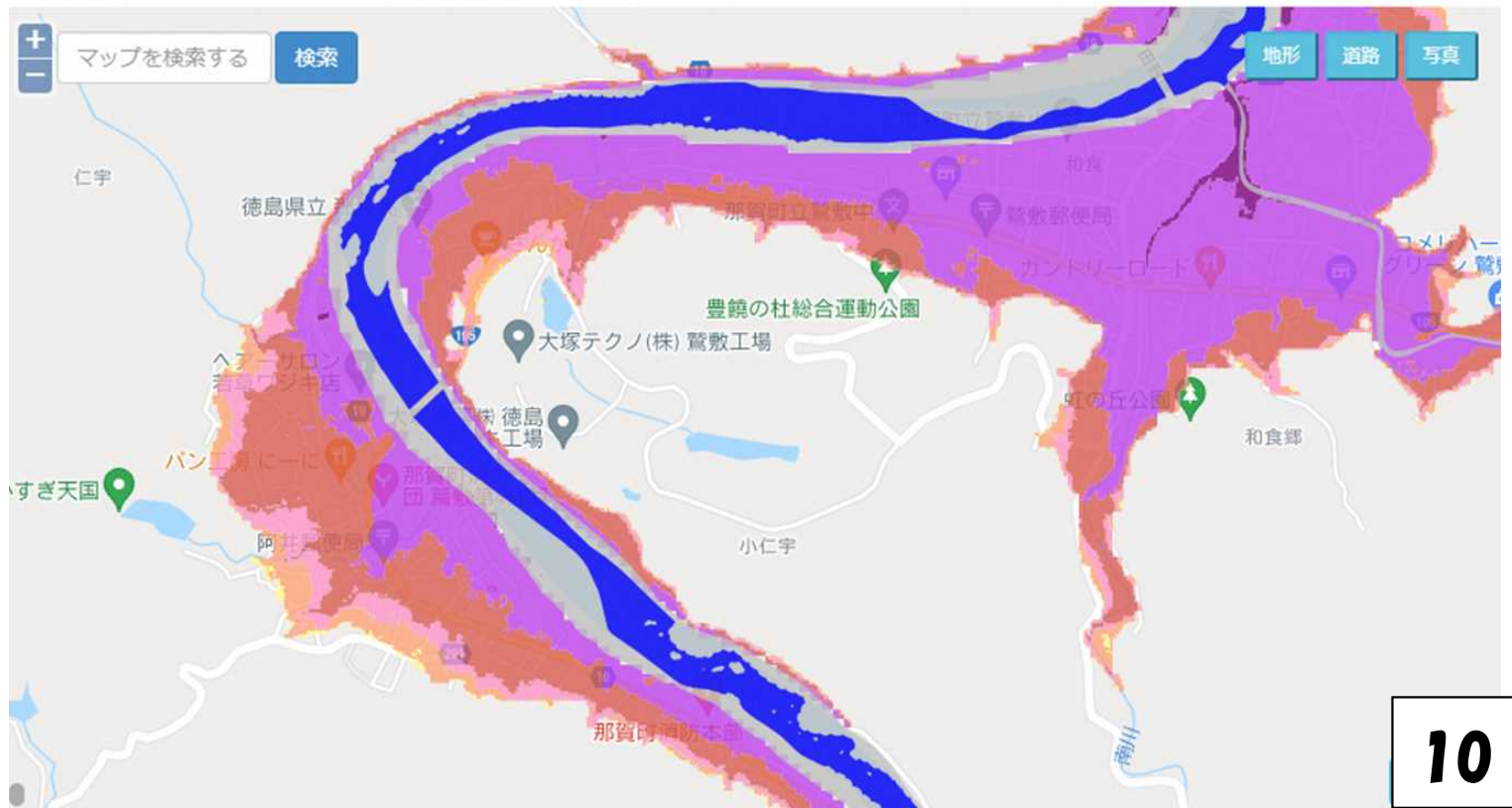


那賀町ハザードマップ

地図をさがす

計画

洪水土砂 | 洪水(想定最大規模) | 洪水(長安口ダム)



1000年に1度の降水量(2日間総雨量1,349mm)を想定した浸水区域

浸水した場合に想定される水深

- 浸水深20m以上
- 浸水深10m~20m未満
- 浸水深5m~10m未満
- 浸水深3m~5m未満
- 浸水深0.5m~3m未満
- 浸水深0.5m未満

浸水想定区域の指定対象となる水位周知河川



# 自宅の土砂災害リスクを知る → 那賀町ハザードマップ(ウェブ)



- 土砂災害警戒区域は土砂が流入するおそれのある区域
- 土砂災害特別警戒区域は建物が損壊するおそれのある区域

クリック



# 自宅の災害リスクを知る → 徳島県水防・砂防情報マップ

## 徳島県水防・砂防情報マップ

<https://www.sabo.pref.tokushima.lg.jp/map/>

## スマートフォン版

<https://www.sabo.pref.tokushima.lg.jp/map/sp/>





# 安全な避難場所・避難経路を考える（水害）

## ●立ち退き避難（水平避難）・浸水想定区域外へ移動



## ●屋内安全確保（垂直避難・待避）・浸水深より高い階へ移動

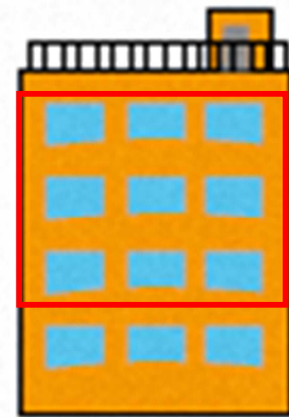
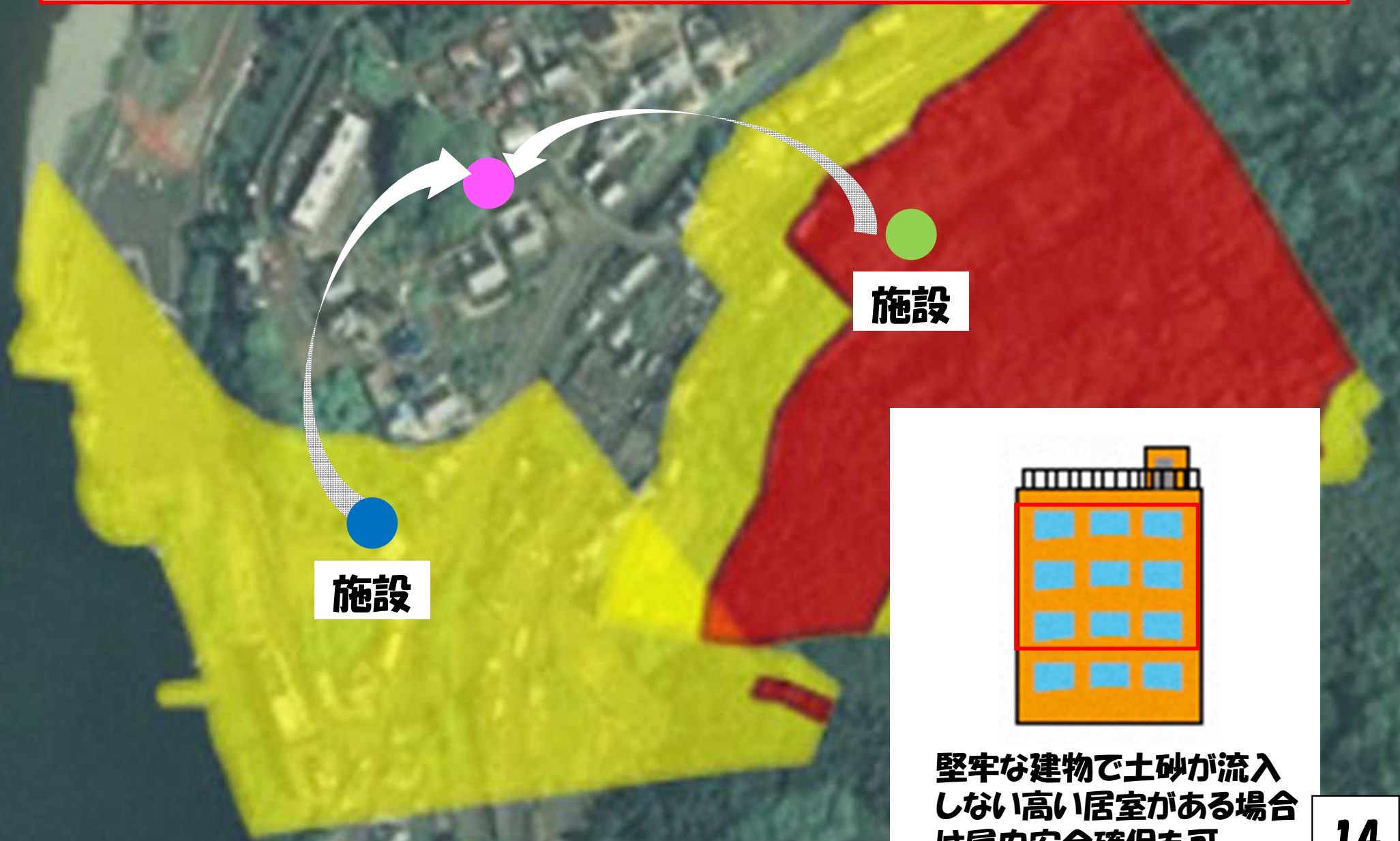


ただし、3条件のクリア必要

- ①洪水で家が壊れない  
(家屋倒壊等氾濫想定区域でない)
- ②浸水深より居室が高い
- ③食料や水、トイレ等が十分で  
水が引くまで我慢できる

# 安全な避難場所・避難経路を考える（土砂災害）

イエローゾーンやレッドゾーンの外への避難が避難行動の基本



堅牢な建物で土砂が流入しない高い居室がある場合は屋内安全確保も可



# 避難先の選定における留意点

1

施設が下記の区域に該当する

はい  いいえ

家屋倒壊等氾濫想定区域

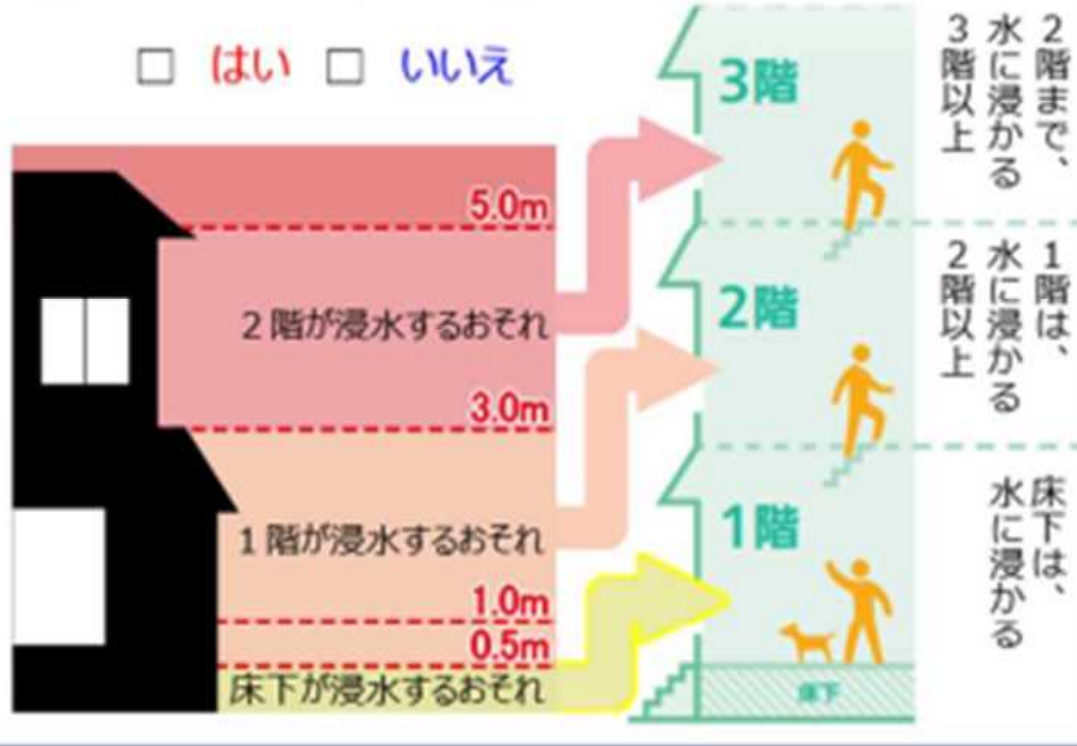
土砂災害(特別)警戒区域

はい

2

施設の浸水深より高い所に避難スペースがある

はい  いいえ



いいえ (高い所にスペースがない)

3

浸水継続時間

避難スペースにて  
電気や通信、  
水道、トイレ等が  
使用可能である

はい  
 いいえ

いいえ

はい

施設外の避難先に  
立退き避難

■ 系列の施設や  
同種・類似の施設



■ 市町村が指定する  
指定(福祉)避難所、  
指定緊急避難場所



■ 近隣の安全な場所  
■ 宿泊施設



施設内の高い所に  
屋内安全確保

# 避難場所等一覧(那賀町地域防災計画(R3.7)資料編)

避難先は、災害の種類に応じた場所を選定しましょう。

## 第2編 災害対策に関する資料

### 1 避難所施設

地区名	番号	名称	所在地	拠点	収容能力	電話	建築年月	地震	土砂災害	洪水
鶯敷	1	中山1区コミュニティセンター	那賀町中山宇東内6番地1		50	-	H30.1	○	○	○
	2	中山公民館	那賀町中山宇とふめん36番地		100	voip 62-8093	H11.5	○	×	○
	3	わじきこども園	那賀町和食郷字八幡原1番地1		300	62-2309	H20.3	○	×	○
	4	鶯の里観光物産センター	那賀町和食郷字田野82番地		100	62-3109	H4	○	○	×
	5	鶯敷中央公民館	那賀町和食郷字南川19番地3		200	voip 62-8091	S49	○(R2)	○	×
	6	鶯敷小学校	那賀町和食宇町117番地1		150	62-2308	S50.4	○	○	×
	7	鶯敷中学校	那賀町和食郷字南川119番地		350	62-2016	H11.3	○	○	○
	8	鶯敷体育館	那賀町和食郷字南川107番地		450	62-2683	S49	×	○	○
	9	那賀町地域交流センター	那賀町和食郷字南川104番地1	拠点	200	62-1183	H23.7.1	○	○	○
	10	那賀高等学校体育館	那賀町小仁宇字大坪179番地1		350	62-1151	S52.12	○	○	○
	11	阿井公民館	那賀町阿井宇杉の久保17番地1		100	voip 62-8093	H10.4	○	×	○
	12	阿井体育館	那賀町阿井宇杉の久保54番地1		350	-	S53	×	×	○
	13	那賀町阿井交流センター	那賀町阿井宇杉の久保7番地4		70	voip 62-8093	H23.3	○	×	○
	14	那賀町地域子育て支援センター	那賀町阿井宇寺西7番地		95	62-0715	H13	○	×	○
	15	B & G海洋センター体育館	那賀町百合字松の木168番地1		350	62-1300	H6.6.10	○	×	○
	16	鶯敷野外活動センター	那賀町百合字松の木178番地1		100	62-2524	H5頃	○	×	○
相生	1	相生老人福祉センター	那賀町延野字王子原31番地1	拠点	100	64-0026	S57.3	×	×	○
	2	健康センター	那賀町延野字王子原31番地1		180	62-1111	S63.8	○	×	○
	3	あいおいこども園	那賀町延野字王子原89番地1		120	62-0595	H22	○	○	○
	4	延野体育館	那賀町延野字王子原116番地		150	voip 60-0006	S53.3	×	○	○
	5	相生体育館	那賀町延野字大原138番地		200	62-1304	S45.2	○(H23)	×	○
	6	相生小学校	那賀町延野字大原80番地		300	64-0123	H13.1	○	×	○



# ●避難のタイミングを決める（警戒レベルと避難行動）

市町村から高齢者等避難（警戒レベル3）や避難指示（警戒レベル4）が発令されたら、危険な場所から速やかに避難してください。また、市町村から避難指示等（警戒レベル）が発令されていなくても、自ら気象情報等を確認し避難の必要性を判断するとともに、身の危険を感じたら迷わず自発的に避難しましょう！

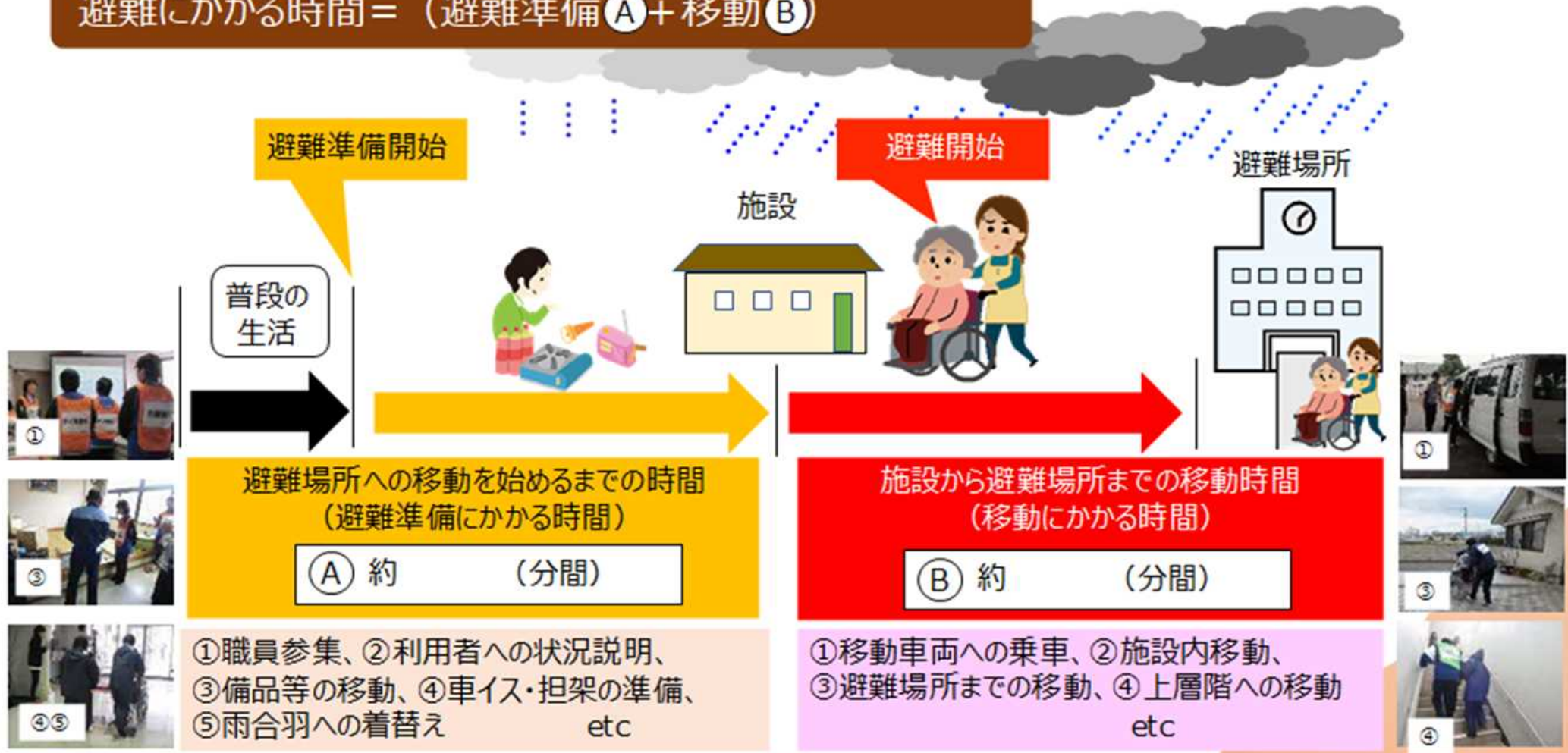
警戒 レベル	施設がとるべき行動	避難情報 市町村から発令	警戒レベル相当情報	
			気象情報	水位
<b>5</b>	<b>命の危険 直ちに安全確保！</b>	<b>緊急安全 確保</b>	大雨特別警報 氾濫発生情報 洪水。土砂キキル (黒色)	氾濫発生・切迫

**警戒レベル4までに必ず避難！**

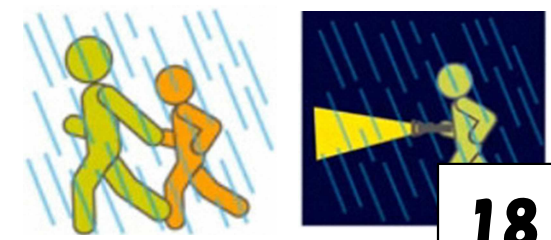
<b>4</b>	<b>避難完了</b> 	<b>避難指示</b>	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 洪水・土砂キキル (紫色)	氾濫危険水位
<b>3</b>	<b>避難開始</b> 	<b>高齢者等 避難</b>	大雨・洪水警報 氾濫警戒情報 洪水・土砂キキル (赤色)	避難判断水位
<b>2</b>	日没までの避難完了 前日の休業判断 		洪水注意報 氾濫注意情報 キキル(黄色)	氾濫注意水位
<b>1</b>	情報収集 		早期注意情報 (警報級の可能性)	

# ●避難のタイミングを決める際の留意点

避難にかかる時間 = (避難準備 A + 移動 B)



●避難時間は、避難時の状況(天候や時間帯、停電)や避難時の態勢(人数や使用可能車両数等)により変わること





# 防災気象情報や避難情報の収集

- 防災気象情報や避難情報は、初動体制の確立や避難開始の判断等をするために必要なものです。
- 収集する情報の内容や入手方法、伝達する情報の内容と伝達先をあらかじめ決めて確認しておきましょう。

種類	名称	入手手段と伝達イメージ
台風等の情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>■週間天気予報、天気予報</li> <li>■台風情報</li> <li>■早期注意情報</li> </ul>	<input type="checkbox"/> テレビのデータ放送 <input type="checkbox"/> ラジオ 
雨の情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>■大雨注意報、洪水注意報</li> <li>■大雨警報、洪水警報</li> <li>■土砂災害警報情報</li> <li>■大雨特別警報</li> <li>■降水短時間雨量予測</li> <li>■キキクル(危険度分布)</li> </ul>	<input type="checkbox"/> インターネット 
河川の情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>■氾濫注意情報</li> <li>■氾濫警戒情報</li> <li>■氾濫危険情報</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 防災情報メール <input type="checkbox"/> スマートフォンアプリ 
避難の情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>■警戒レベル3(高齢者等避難)</li> <li>■警戒レベル4(避難指示)</li> <li>■警戒レベル5(緊急安全確保)</li> </ul>	



# 避難に役立つ防災気象情報（気象庁） ・ ・ 地域の防災情報

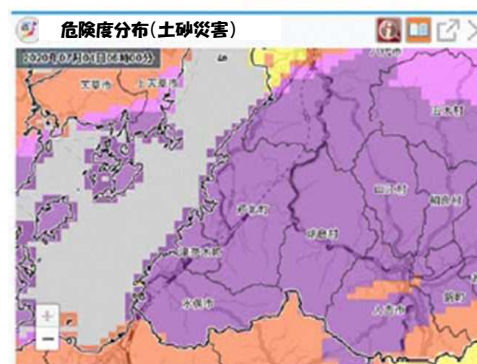
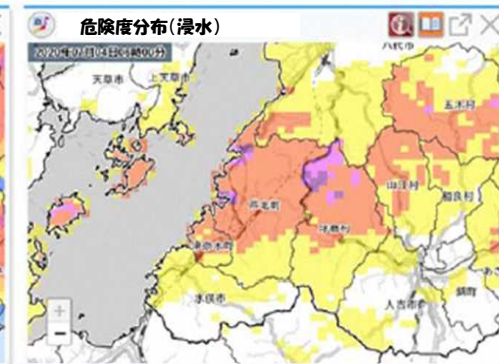
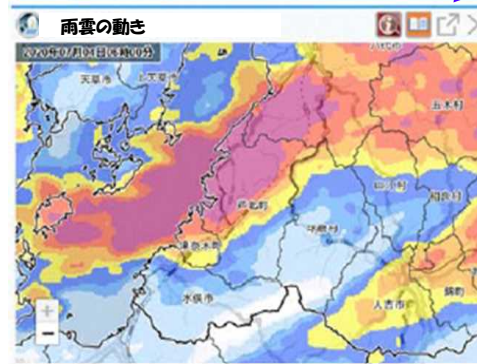
- ・市町村で発表される防災気象情報を分野毎に一つのページで閲覧可能
- ・3種類の危険度分布と雨雲の動きを一つのページで閲覧可能

令和3年2月24日に  
HPをリニューアル



警報・注意報	12日		13日		備	
	21-24	00-03	03-06	06-09		
大雨 (土砂災害)	全域				土砂災	
洪水	全域					
暴風	陸上	30	30	25	15	13
海上	30	30	25	15	13	
波浪	全域	4	4	3	1.5	1.5
高潮	全域	2.0	2.0	2.0		ピーク

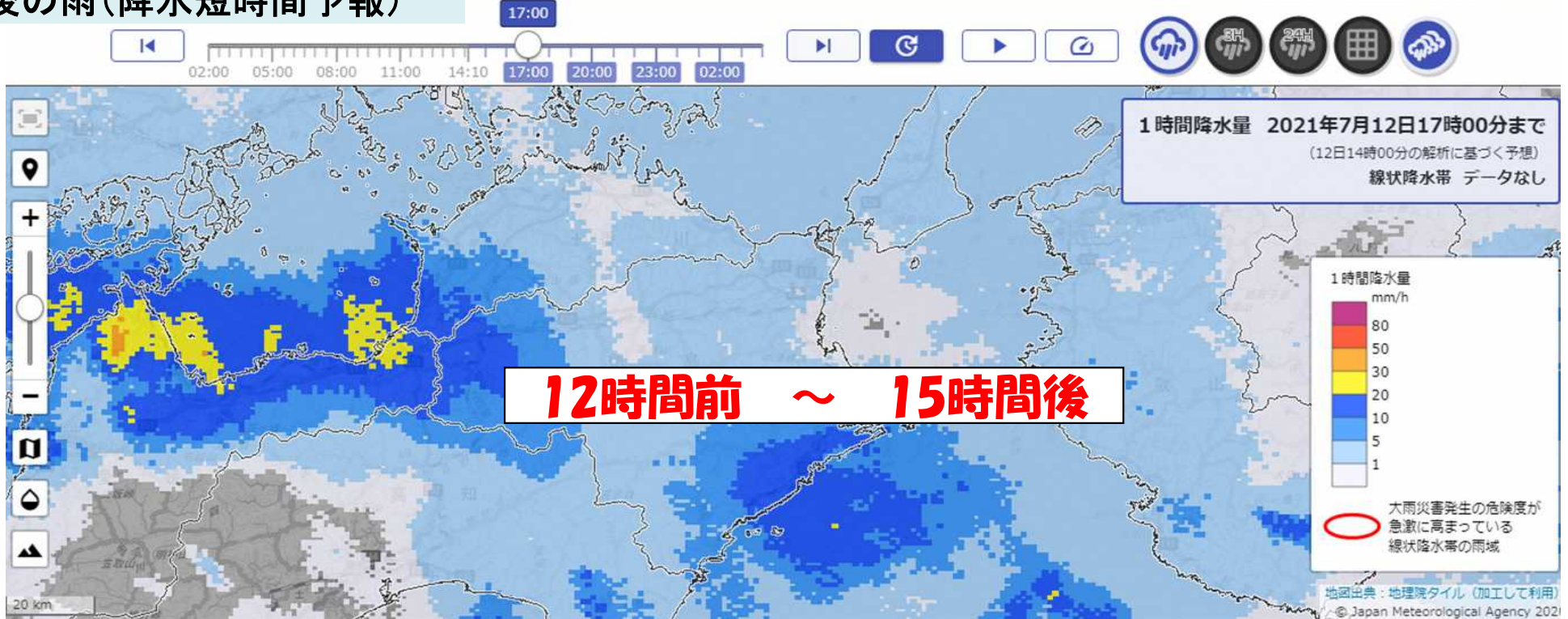
全国 熊本県 芦北町の防災情報



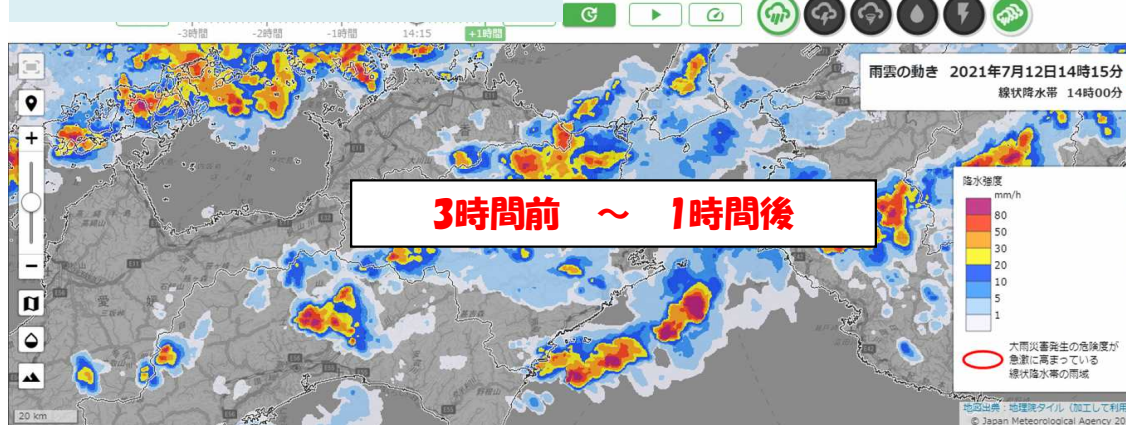


# 避難に役立つ防災気象情報（気象庁） ・ ・ 大雨の予報

## 今後の雨(降水短時間予報)



## ナウキャスト(雨雲の動き・雷・竜巻)



# 避難に役立つ水位情報

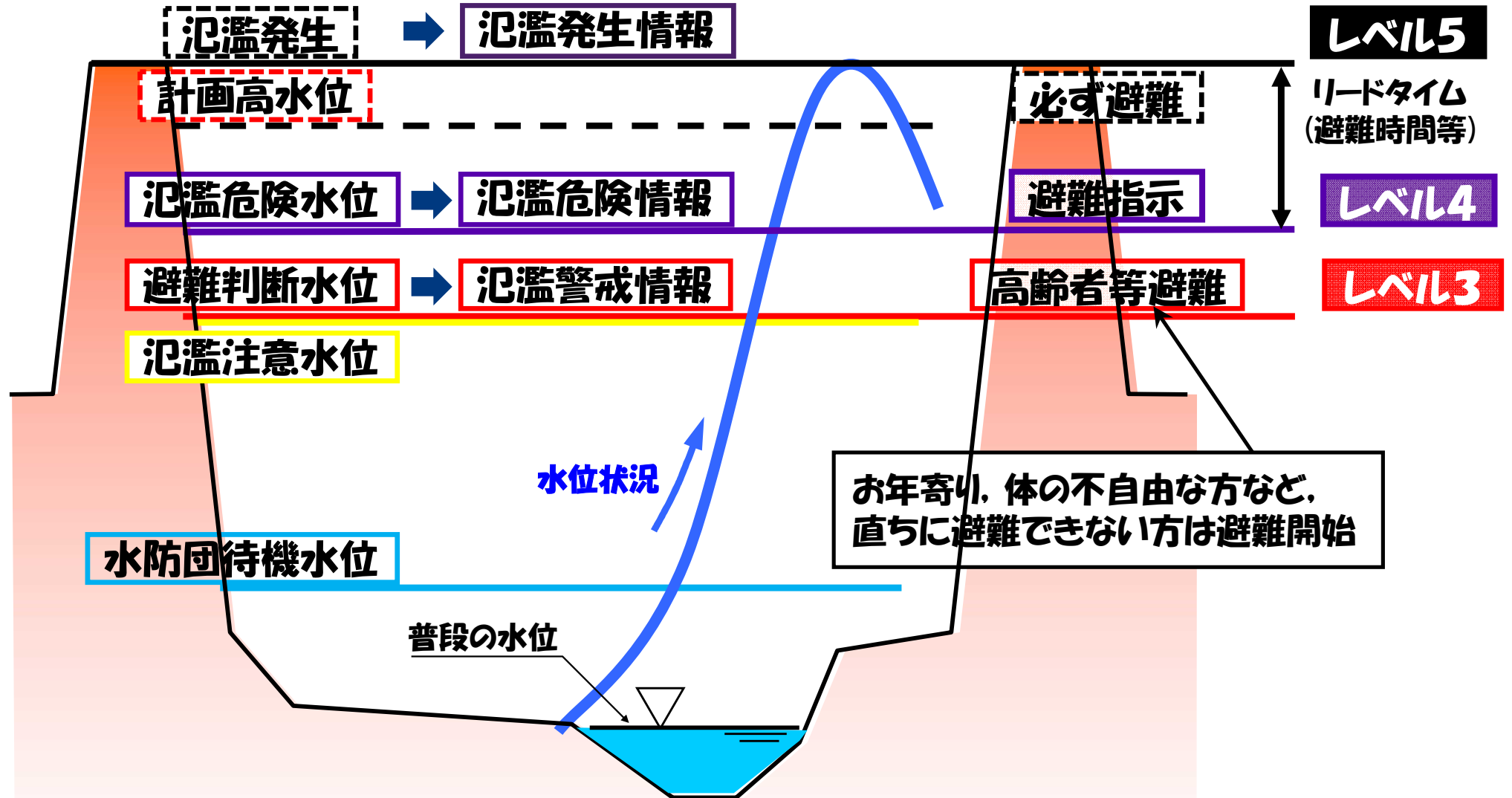
(水位周知河川：那賀川 (県管理区間))

(和喰水位観測所)

水位情報

避難情報

警戒レベル



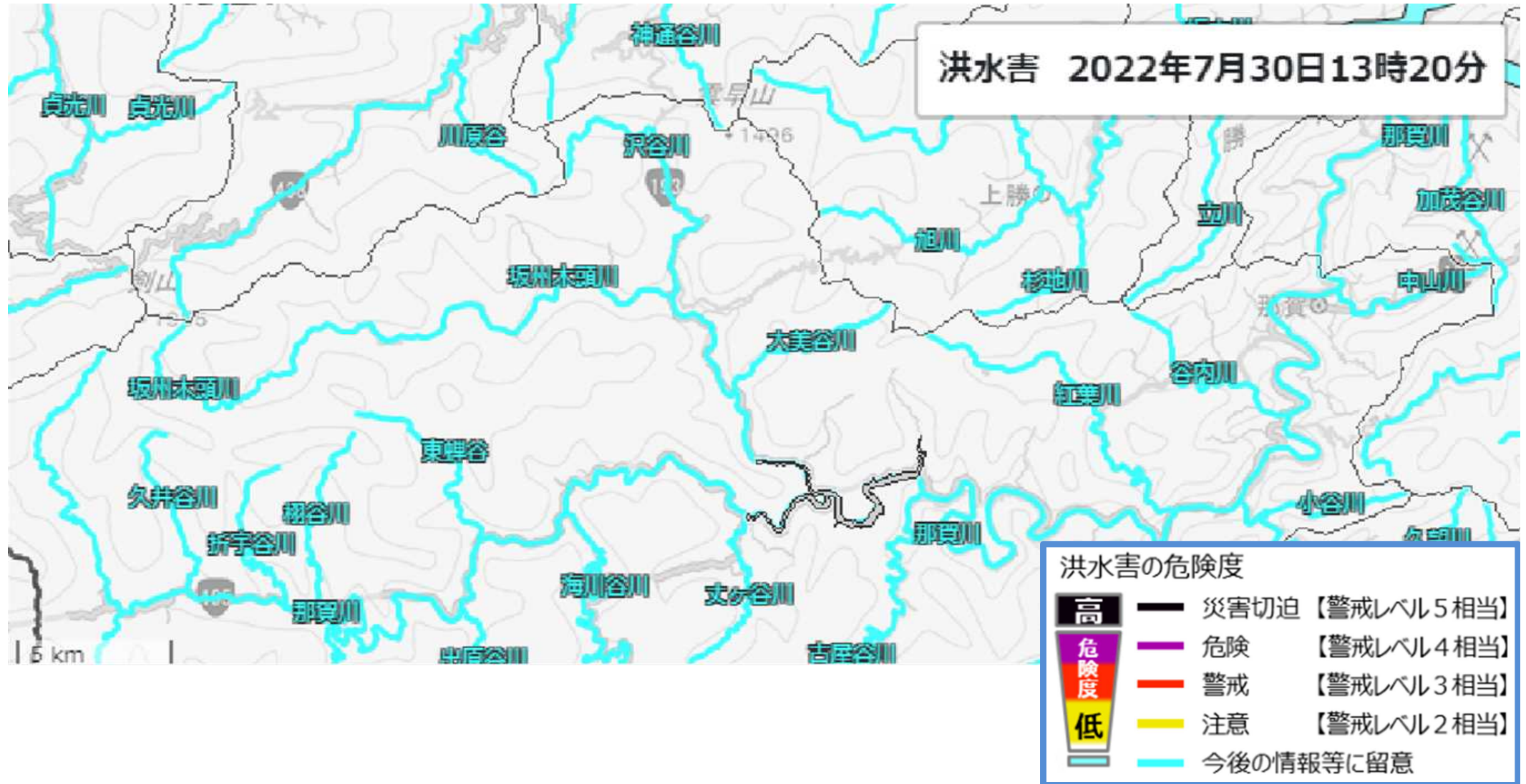


# 避難に役立つ**防災気象情報**（気象庁） ・ ・ 洪水警報の危険度分布

- ・大雨による**中小河川**（水位周知河川及びその他河川）の洪水災害発生の危険度の高まりを5段階に色分けして地図上に表示。
- ・危険度の判定には**3時間先**までの流域雨量指数の予測値を用いて、中小河川の特徴である急激な増水による危険度の高まりを事前に確認できる。



# 避難に役立つ防災気象情報（気象庁） ・ ・ 洪水警報の危険度分布

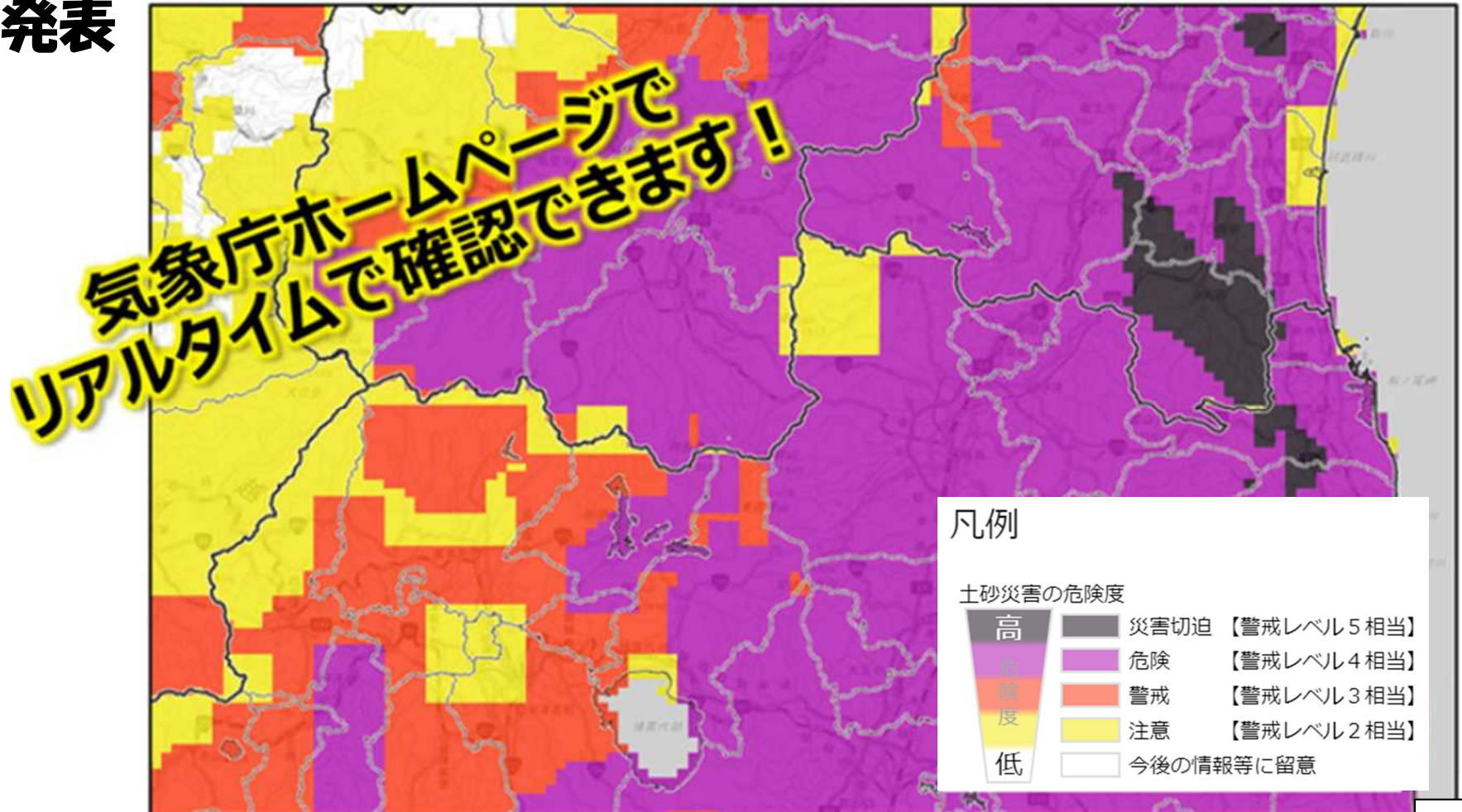




# 土砂キキクル（気象庁） R4.6.30～運用変更

●大雨警報や土砂災害警戒情報が発表されたら、必ず確認！

- ・土砂災害発生の危険度を1kmメッシュ毎に5段階に色分け
- ・避難にかかる時間を考えて2時間先までの予測値を採用
- ・赤色出現で大雨警報（土砂災害）、紫出現で土砂災害警戒情報発表



●自宅周辺が赤色（警戒）や紫色（危険）になったら、避難開始！

## 「線状降水帯」による大雨の危機感を伝える情報 (警戒レベル4相当以上)

「線状降水帯」は積乱雲がほぼ同じ場所で、数時間停滞することにより、大雨となるもので、災害の危険度が急激に高まります！



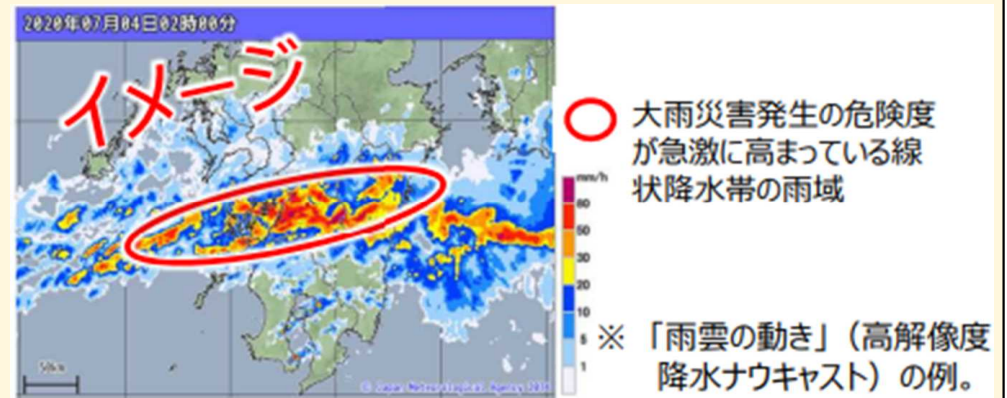
この情報が発表されたら、市町村の避難情報やキキクル(危険度分布)等を確認し、適切な避難行動を取ってください。

### 線状降水帯に関する情報のイメージ

#### 顕著な大雨に関する〇〇県気象情報

〇〇地方、〇〇地方では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続けています。命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生の危険度が急激に高まっています。

### 線状降水帯の情報を補足する図情報のイメージ



※令和3年9月8日 運用開始後、県南で四国で初めて発表されました。

令和4年6月1日 線状降水帯による大雨の可能性の半日前からの呼びかけ



# 避難に役立つ防災情報・徳島県水防情報

- TOP
- 地図情報
- 雨量情報
- 河川水位情報
- ダム情報
- 潮位情報
- レーダー雨量
- 気象警報注意報 (気象庁)
- 洪水予報
- 氾濫警戒情報等
- 水防警報
- 高潮氾濫危険情報
- カメラ映像
- 土砂災害情報
- CSVダウンロード
- 関連リンク

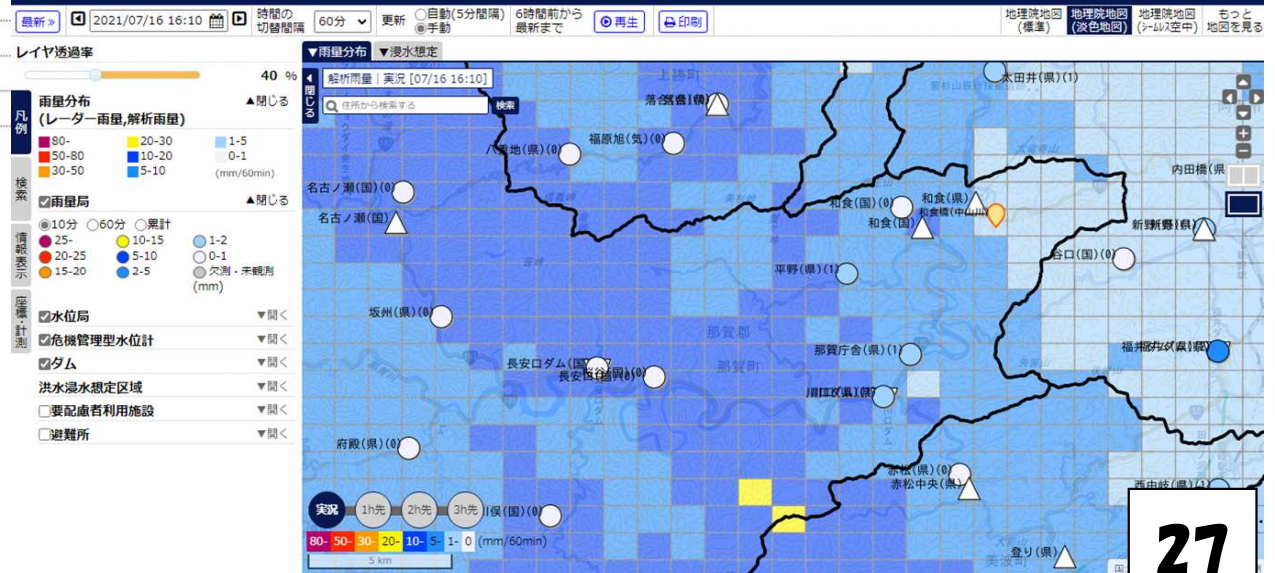
### 重要な情報

観測情報	1時間あたりの雨量が基準値を超過した地点	なし
	降りはじめからの雨量が基準値を超過した地点	なし
	警戒基準に達した河川	なし
	特別警戒水位に達した地点	なし
発表情報	洪水予報	<発表なし>
	氾濫警戒情報等	<発表なし>
	水防警報	県内の国管理河川（今切川、旧吉野川、桑野川（国管理区間）、派川那賀川）の発表情報は <a href="#">こちら</a> （川の防災情報）
	高潮氾濫危険情報	<発表なし>

**気象警報・注意報** 2021年07月19日16時12分 発表 [詳細はこちら\(気象庁\)](#)

- 徳島・鳴門
- 美馬北部・阿北
- 美馬南部・神山
- 三好
- 阿南
- 那賀・勝浦

### 徳島県河川防災情報



### 地図情報

地図情報、雨量情報、河川水位情報、ダム情報、気象警報・注意報、洪水予報、氾濫警戒情報、水防警報、カメラ映像等が確認できる。



スマートフォン向けページ  
<https://www.kasen.pref.tokushima.lg.jp/sp/>  
 (直接リンク)

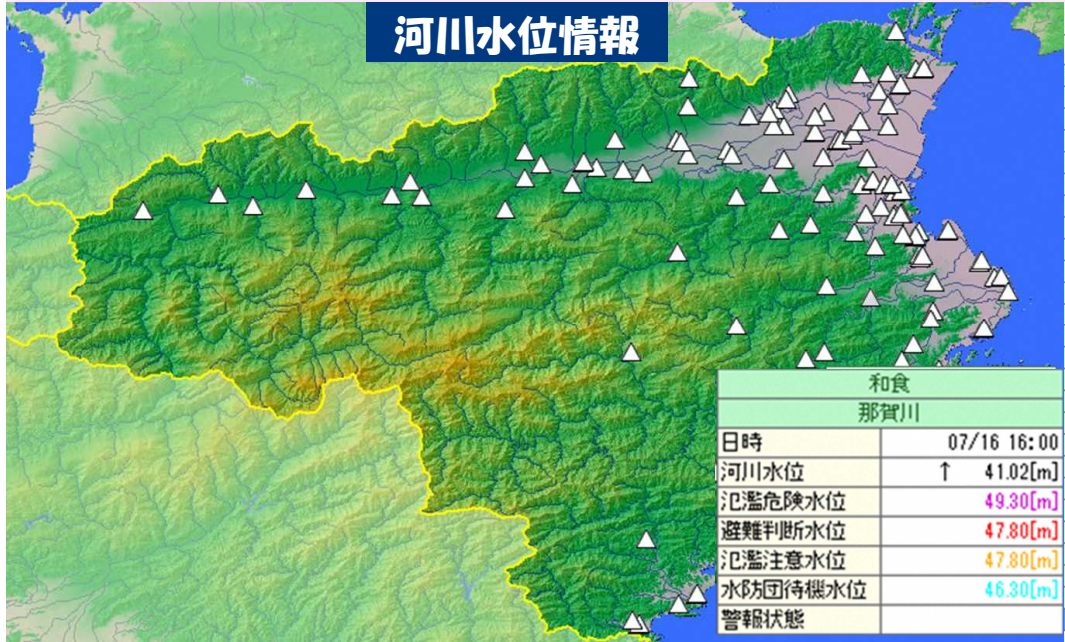


モバイル向けページ  
<https://www.kasen.pref.tokushima.lg.jp/fp/>  
 (直接リンク)



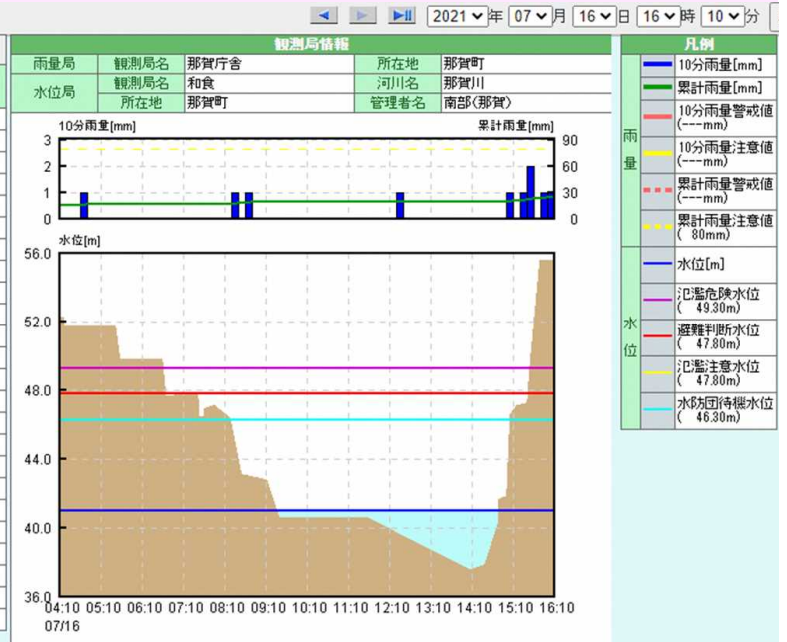


# 避難に役立つ防災情報・徳島県水防情報



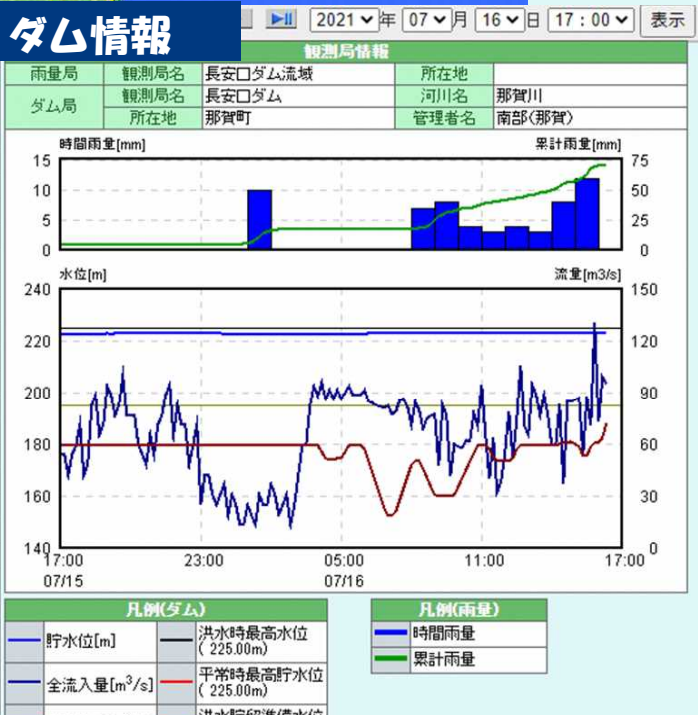
### 水位グラフ

表示期間	10分		
観測データ	10分雨量	累計雨量	水位
日時	[mm]	[mm]	[m]
16日 12:20	0.0	19.0	41.00
16日 12:30	1.0	20.0	41.00
16日 12:40	0.0	20.0	41.00
16日 12:50	0.0	20.0	41.00
16日 13:00	0.0	20.0	41.00
16日 13:10	0.0	20.0	41.01
16日 13:20	0.0	20.0	41.00
16日 13:30	0.0	20.0	41.00
16日 13:40	0.0	20.0	41.00
16日 13:50	0.0	20.0	41.00
16日 14:00	0.0	20.0	41.00
16日 14:10	0.0	20.0	41.00
16日 14:20	0.0	20.0	41.00
16日 14:30	0.0	20.0	41.00
16日 14:40	0.0	20.0	41.00
16日 14:50	0.0	20.0	41.00
16日 15:00	0.0	20.0	41.00
16日 15:10	1.0	21.0	41.00
16日 15:20	0.0	21.0	41.00
16日 15:30	1.0	22.0	41.01
16日 15:40	2.0	24.0	41.00
16日 15:50	0.0	24.0	41.01
16日 16:00	1.0	25.0	41.02
16日 16:10	1.0	26.0	41.02



### ダム諸量グラフ

観測データ	時間	累計	貯水位	全流入量	全放流量
日時	[mm]	[mm]	[m]	[m³/s]	[m³/s]
16日 18:00	0.0	4.0	222.71	42.15	59.46
16日 19:00	0.0	4.0	222.77	94.10	59.47
16日 20:00	0.0	4.0	222.80	76.82	59.48
16日 21:00	0.0	4.0	222.79	58.70	59.48
16日 22:00	0.0	4.0	222.83	82.63	59.49
16日 23:00	0.0	4.0	222.77	24.81	59.51
16日 24:00	0.0	4.0	222.73	36.38	59.48
16日 01:00	0.0	5.0	222.67	24.85	59.44
16日 02:00	10.0	16.0	222.63	36.40	59.42
16日 03:00	0.0	17.0	222.57	24.88	59.36
16日 04:00	0.0	17.0	222.62	88.12	59.39
16日 05:00	0.0	17.0	222.68	85.97	51.43
16日 06:00	0.0	17.0	222.74	91.57	56.97
16日 07:00	0.0	17.0	222.85	82.63	19.03
16日 08:00	0.0	17.0	222.89	70.90	47.72
16日 09:00	7.0	25.0	222.97	77.14	30.70
16日 10:00	8.0	34.0	223.01	58.58	35.32
16日 11:00	4.0	38.0	223.07	94.16	59.22
16日 12:00	3.0	41.0	223.08	55.78	49.95
16日 13:00	4.0	46.0	223.09	65.05	59.22
16日 14:00	3.0	50.0	223.09	59.22	59.22
16日 15:00	8.0	***	223.10	***	***
16日 16:00	12.0	71.0	223.14	72.46	60.78
16日 16:20	12.0	71.0	223.19	95.32	71.93

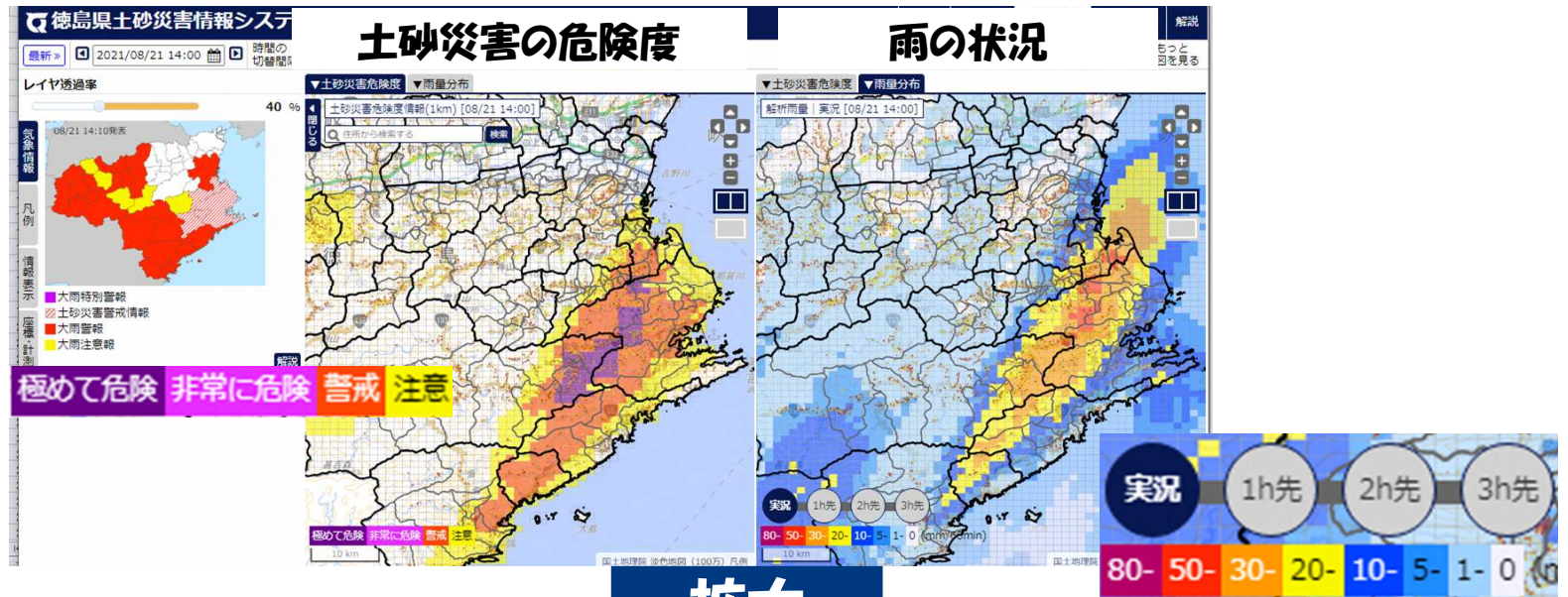


那賀町ケーブルテレビで放映

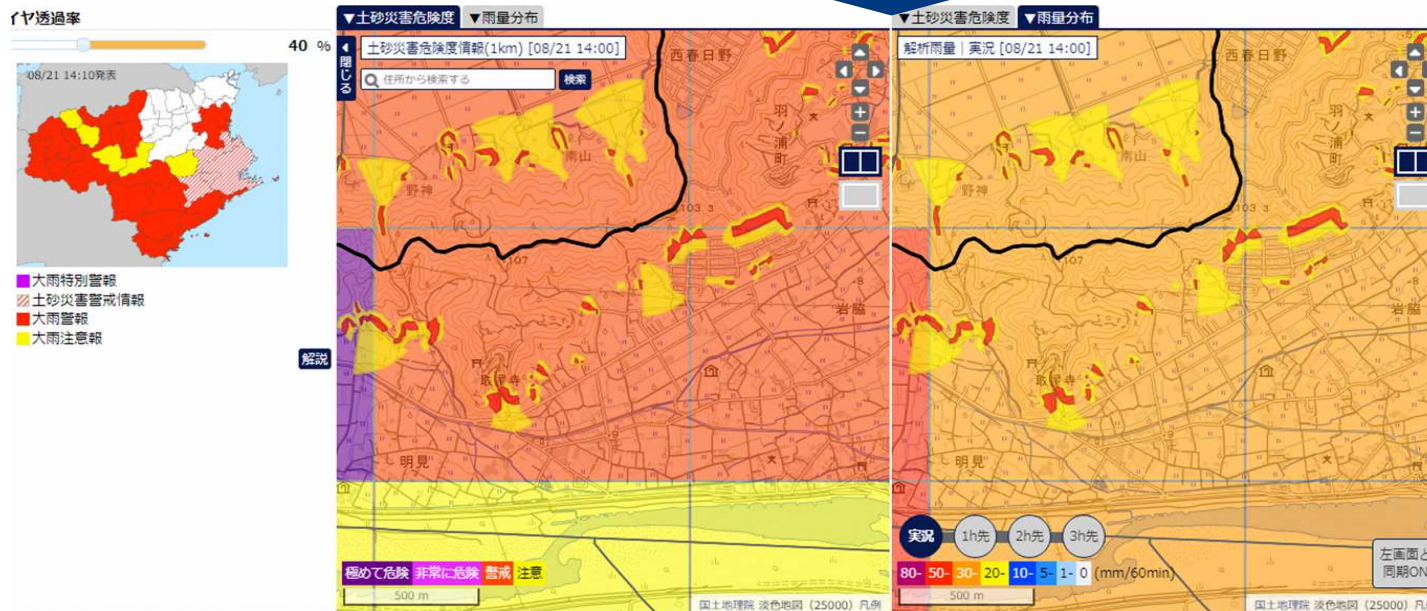


# 徳島県土砂災害情報システム(徳島県)

●自宅周辺の土砂災害の危険度と雨の状況が両方わかる



拡大



# 徳島県土砂災害情報システムの新たな運用(R4.5.26)

## 「土砂災害危険度レベル」

CL（土砂災害警戒情報の発表基準線）に加えて、住民がとるべき行動が一目で分かる「土砂災害危険度レベル」を表示

住民自らの判断による「早め早めの避難」を促進

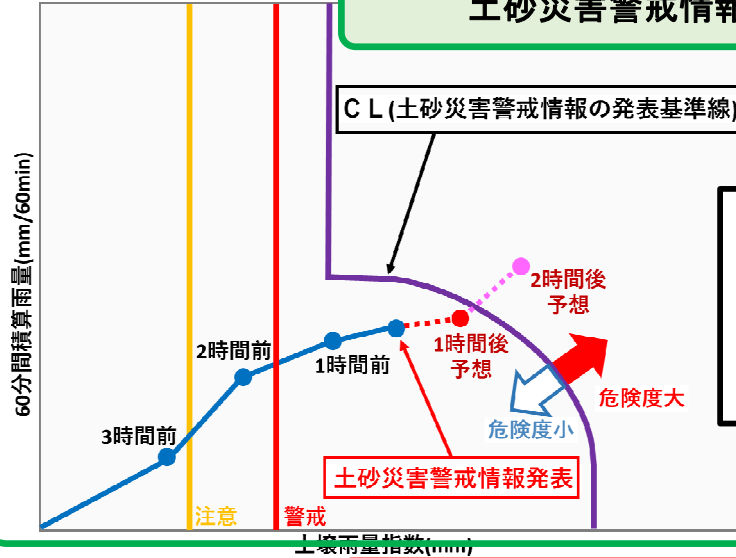
### 徳島県土砂災害情報システム

ここをクリック

スマートフォン版 <https://www.sabo.pref.tokushima.lg.jp/sp/>

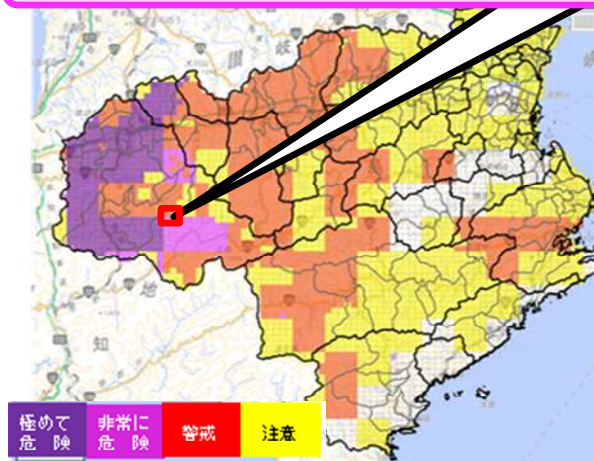
モバイル版 <https://www.sabo.pref.tokushima.lg.jp/mb/>

### 土砂災害警戒情報の考え方



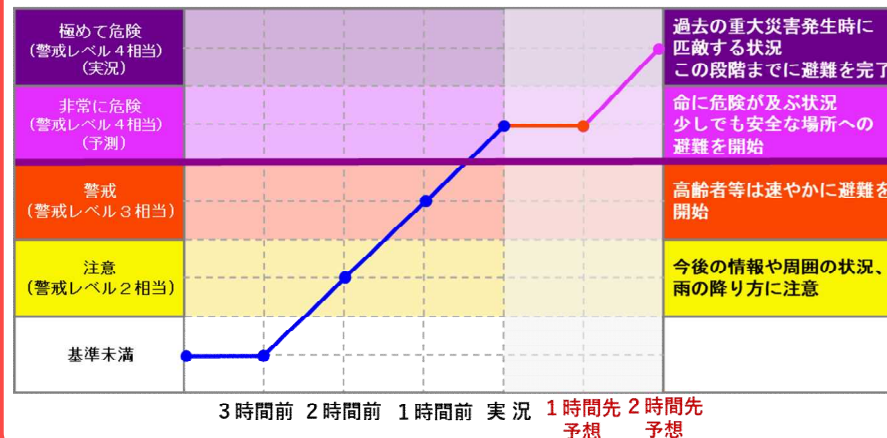
○発表のタイミング  
2時間以内にCL（土砂災害警戒情報の発表基準線）を超過する見込みがあるときに、土砂災害警戒情報を発表

### 災害リスクの「見える化」



### 土砂災害の危険度を容易に確認

#### 【イメージ図】

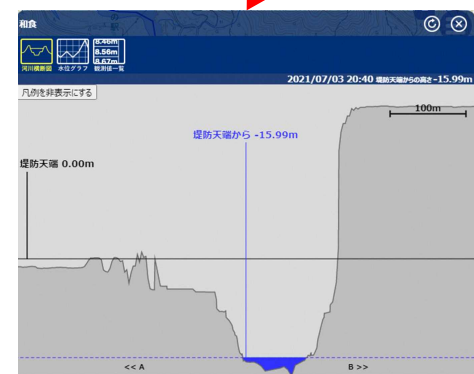
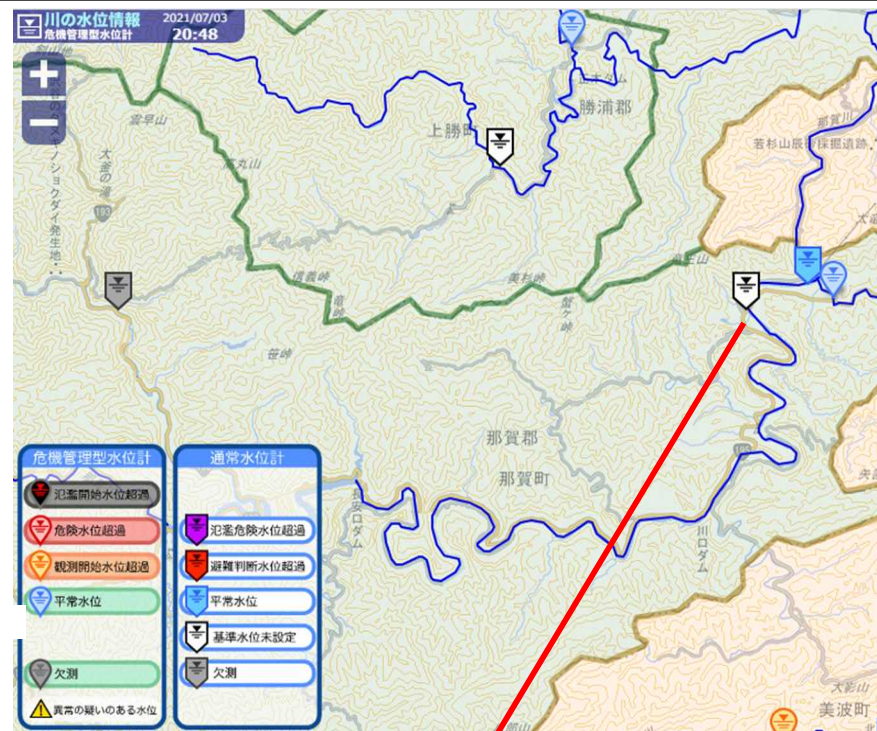


○土砂災害危険度レベル  
危険度の推移を時間ごとにグラフで表示  
各危険度レベルごとに住民がとるべき行動を記載



# 避難に役立つ防災情報・川の防災情報（国土交通省）

全国の川の水位や洪水予警報、レーダー雨量、河川カメラ画像などをリアルタイムで提供している「川の防災情報」ウェブサイトがリニューアル(R3.3.23)





# 施設における防災体制の例

- 利用者の円滑な避難を確保するためには、防災体制を機能的に組織する必要があります。
- 職員だけで利用者の避難支援が困難な場合には、地域住民や利用者の家族、地元の企業等の外部の協力も得て体制を構築しましょう。
- また、夜間や休日などに迅速に駆けつけることができる緊急参集者も決めておくことが重要です。

職員一人一人が担当する内容を把握し、いざというときに対応できるようにしましょう！

- ①全体を指揮する  
「統括指揮者」



- ②情報収集や伝達を担当する  
「情報連絡班」



- ④避難に必要な設備や装備品等を  
点検し準備する「装備品等準備班」



- ③利用者の避難支援を担当する  
「避難誘導班」






# 避難訓練の種類・・組み合わせで行うことも可

訓練種類	立退き避難訓練	屋内安全確保訓練
訓練 イメージ	施設内移動 ⇒ 車両への移動、徒歩⇒ 避難先(利用者の支援)	施設上階への移動(階段・エレベーター)⇒ 上階での利用者の支援
		

訓練種類	図上訓練	情報収集・情報伝達訓練	避難経路等の確認訓練
訓練 イメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図等を活用したイメージ訓練</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃からの気象情報等の確認</li> <li>・施設内での情報伝達訓練</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難先までの移動時間の確認</li> <li>・大雨時における安全性の確認</li> </ul> 



# 避難訓練の種類

<p>訓練の種類</p>	<p><b>設備・装備品・備蓄品・持ち出し品等の確認訓練</b></p>
<p>訓練イメージ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の避難に必要なものを確保</li> <li>・避難先にて必要なものを確保</li> <li>・移動しやすい場所にあるかの確認</li> </ul> 

## 【参考】屋内安全確保で避難するときの注意点

- 施設内に数日間過ごせる量の食糧や水、薬を備蓄しておきましょう。
- 停電、断水、ガスの供給停止に備え、施設内に数日間過ごすための懐中電灯、非常用電源、携帯用トイレ等を備蓄しておきましょう。



## 【参考】避難支援に必要な設備や機材等

- エレベーターの活用に加え、非常用電源の設置やエレベーターの代替えとなるスロープの設置、階段昇降機の設置、車椅子等を支援者が持ち上げることも想定した階段幅の確保しましょう。
- 避難及び避難先における支援に必要な装備品や備蓄品を適切に確保しておきましょう。

※電力を必要としないものや蓄電池により稼働するもの



※車椅子や担架等を支援者が持ち上げることを想定した階段幅



非常用発電機



スロープ



出典：社会福祉法人新和会



# 避難訓練における留意点

- 避難訓練は、毎年実施することが重要です。
- また、訓練結果は市町村に報告する必要があります。
- 訓練終了後には、参加者により訓練の振り返り（AAR※）を実施し、必要に応じて避難確保計画を見直すとともに、避難体制の改善につなげるようにしましょう。
- 訓練結果の振り返りを適切に実施するためには、あらかじめ訓練の目的と目標を決めておくことが重要です。



5分程度でできるので、是非、やってみましょう。

1. 何をしようとしていた？
2. 実際はどうだった？
3. なぜそうなった？
4. 次はどう改善すべきか？



<振り返り(AAR)のイメージ>

※AAR(After Action Review)とは、訓練で明らかになった失敗や課題を当事者同士で議論し、次への改善や教訓として組織の災害対応に活かす「ふりかえり」です。

**タイムラインを作ろう！**



# タイムラインってなに？

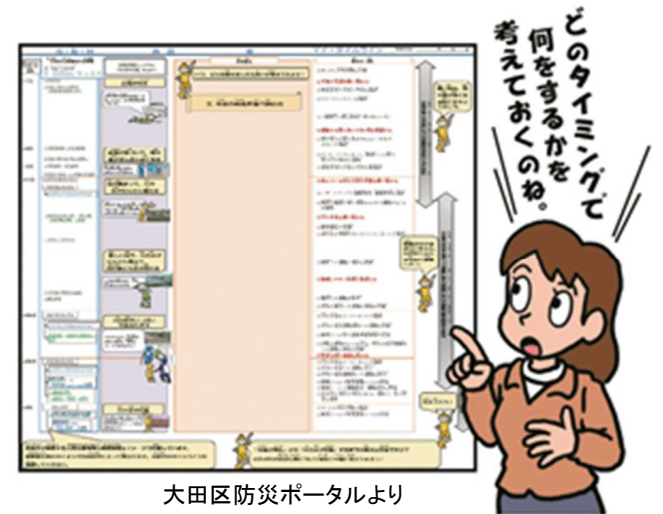
台風が近づいてきて、  
川の「はん濫」や「土砂災害」  
が発生しそうになっています。



あなたは、あわてずに行動できますか？

災害が起きそうなときに、  
余裕を持って逃げるために

**「いつ」「何をするか」**



事前に考えておく、避難計画のことです。

# タイムラインの台紙について

**タイムライン**

「台風や前線が発生」してから「災害が起こるまで」の備えは万全ですか？ 雨の降り方や周囲の状況に合わせて**命を守る行動**を取らしましょう。

作成日 年 月 日

時間軸	河川の水位	防災気象情報	キキクル(危険度分布)洪水予報	避難情報	警戒レベル	主な備え(私たちの行動)
台風・前線発生前					平時 (事前の備え)	
3日前	水防団待機水位到達 川 水位 m	<b>台風発生</b> 早期注意情報(警報級の可能性)			警戒レベル <b>1</b> 災害への心構えを高める	
2日前						
1日前	氾濫注意水位到達 川 水位 m	大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報	注意 氾濫注意情報		警戒レベル <b>2</b> 自らの避難行動を確認	
3時間前	避難判断水位到達 川 水位 m	大雨警報 洪水警報 高潮注意報 (高潮警報に切り替える可能性が高い)	警戒 氾濫警戒情報	<b>高齢者等避難</b>	警戒レベル <b>3</b> 危険な場所から高齢者等は避難	
2時間前	氾濫危険水位到達 川 水位 m	土砂災害警戒情報 高潮警報・高潮特別警報	危険 氾濫危険情報	<b>避難指示</b>	警戒レベル <b>4</b> 危険な場所から全員避難	
災害発生		大雨特別警報 災害切迫 氾濫発生情報			警戒レベル <b>5</b> 命の危険直ちに安全確保!	

避難所の名称 電話番号 備考



最寄り水位・雨量観測局、河川監視カメラ

水位計

雨量計


河川監視カメラ

(参考)




氾濫危険水位(警戒レベル4相当)  
避難判断水位(警戒レベル3相当)  
氾濫注意水位(警戒レベル2相当)  
水防団待機水位(警戒レベル1相当)  
普段の水位


避難所の情報




土砂災害危険度の情報



河川・海岸の水位情報



通行規制の情報



■ 時間軸は目安です。  
■ 気象庁が発表する大雨注意報等の発表時間はイメージで記載しています。

- ① 台風が発生し、日本列島に近づいてきます。すると、だんだん雨ははげしく、河川の水位も上昇し、3日後に災害が発生するとなります。
- ② 台風が発生してから災害が発生する間に、様々な防災気象情報や避難情報が発表され、警戒レベルが1から5にアップしていきます。



# タイムラインの台紙について

## タイムライン

「台風や前線が発生」してから「災害が起こるまで」の備えは万全ですか？ 雨の降り方や周囲の状況に合わせて**命を守る行動**を取りましょう。

作成日 年 月 日

時間軸	河川の水位	防災気象情報	キキクル(危険度分布) 洪水予報	避難情報	警戒レベル	主な備え (私たちの行動)
台風・前線発生前					平時 (事前の備え)	
3日前	水防団待機水位到達 川 水位 m	<b>台風発生</b>  早期注意情報 (警報級の可能性)			警戒レベル <b>1</b> 災害への心構えを高める	
2日前	氾濫注意水位到達 川 水位 m	大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報	注意 氾濫注意情報		警戒レベル <b>2</b> 自らの避難行動を確認	
1日前	避難判断水位到達 川 水位 m	大雨警報 洪水警報 高潮注意報 (高潮警報に切り替える可能性が高い)	警戒 氾濫警戒情報	<b>高齢者等避難</b>	警戒レベル <b>3</b> 危険な場所から高齢者等は避難	
3時間前	氾濫危険水位到達 川 水位 m	土砂災害警戒情報 高潮警報・高潮特別警報	危険 氾濫危険情報	<b>避難指示</b>	警戒レベル <b>4</b> 危険な場所から全員避難	
2時間前						
災害発生		大雨特別警報	災害切迫 氾濫発生情報	緊急安全確保	警戒レベル <b>5</b> 命の危険直ちに安全確保!	

《 警戒レベル4までに必ず避難！ 》

避難所の名称	電話番号	備考

最寄りの水位・雨量観測局、河川監視カメラ

水位計	雨量計	河川監視カメラ

(参考)



避難所の情報 	土砂災害危険度の情報 
河川・海岸の水位情報 	通行規制の情報 

- 時間軸は目安です。
- 気象庁が発表する大雨注意報等の発表時間はイメージで記載しています。



# アクションシールについて

アクションシールは、台風の発生前から避難するまでの間に、皆さんがとるべき行動をシールにしたものです。

ハザードマップで施設周辺で起こる災害を確認する

避難場所や避難経路を決めておく

テレビやスマートフォン等で台風情報や気象情報を確認する

最寄りの水位計や雨量計を確認する

避難訓練をする

職員向け防災研修を実施する

避難のタイミングを決めておく

利用者の避難を始める

避難先へ持ち出し品等を運搬する

外が危険なので施設の一番安全な場所に避難する

避難先への持ち出し品を点検する

移動に必要な車を確保する

事前休業の判断をする

避難先への持ち出し品を準備する

利用者全員の避難完了を確認し、役場等へ連絡する

停電時に必要なものを確認しておく

利用者家族へ迎への依頼の連絡をする

地域との応援体制を確保しておく

ハザードマップで施設周辺で起こる災害を確認する



# タイムラインを作成しよう！

## タイムライン

「台風や前線が発生」してから「災害が起こるまで」の備えは万全ですか？ 雨の降り方や周囲の状況に合わせて**命の危険**の行動を取りましょう。

作成日 年 月 日

時間軸	河川の水位	防災気象情報 防炎気象情報 土砂災害危険区域 洪水予報	避難情報	警戒レベル	主な備え (この行動)
台風・前線発生前				平時 (事前の備え)	
3日前	小防留待機水位到達 川 水位 m	台風発生 早期注意情報 (警戒級の可能性)		警戒レベル <b>1</b>	
2日前	沿道注意水位到達 川 水位 m 洪水注意報 高潮注意報	大雨注意報 注意 沿道注意情報		警戒レベル <b>2</b>	
1日前	沿道注意水位到達 川 水位 m 洪水注意報 高潮注意報	大雨警報 注意 沿道注意情報	高齢者等避難	警戒レベル <b>3</b>	
3時間前	沿道注意水位到達 川 水位 m 洪水注意報 高潮注意報	大雨警報 注意 沿道注意情報	高齢者等避難	警戒レベル <b>3</b>	
2時間前	沿道危険水位到達 川 水位 m 土砂災害警戒情報 高潮警報・高潮特別警報	危険 沿道危険情報	避難指示	警戒レベル <b>4</b>	
災害発生	大雨特別警報 災害発生情報	災害発生情報	緊急安全確保	警戒レベル <b>5</b>	

水位計

雨量計

河川監視カメラ

(参考)

沿道危険水位 (警戒レベル4相当)

避難判断水位 (警戒レベル3相当)

沿道注意水位 (警戒レベル2相当)

水防留待機水位 (警戒レベル1相当)

普段の水位

避難所の情報

土砂災害危険度の情報

河川・海岸の水位情報

通行規制の情報

■ 時間軸は目安です。  
■ 気象庁が発表する大雨注意情報等の発表時刻はイメージで記載しています。

## アクションカード

ハガートマップで施設周辺で起こる災害を確認する

避難場所や避難経路を決めておく

全員避難を始める

通行止め情報等を確認する

避難先で利用者支援を行う

電話がつかない時の連絡手段を決めておく

避難訓練をする

テレビやスマートフォン等で台風情報や気象情報を確認する

最寄りの水位計や雨量計を確認する

避難先の受け入れ体制を確認する

職員や利用者家族等との連絡方法を確認する

利用者家族へ避難開始の連絡をする

避難場所・避難経路・避難のタイミングを利用者家族と共有しておく

職員向け防災研修を実施する

避難のタイミングを決めておく

利用者の避難を始める

備品を補充する

利用者等の装備品を装着する

利用者の避難開始を役場等へ連絡する

職員の役割分担を決めておく

病院で薬をもらう

避難先へ持ち出し品等を選択する

外が危険なため施設の一歩安全な場所に避難する

避難時に使用する装備品を確認する

利用者等施設内の安全な場所へ移動させる

スマートフォンやタブレット等を充電しておく

避難確保計画の見直しを行う

避難先への持ち出し品を点検する

移動に必要な車を確保する

事前休養の判断をする

避難先への持ち出し品を準備する

利用者全員の避難完了を確認し、後場等へ連絡する

停電時に必要なものを確認しておく

利用者家族へ迎えの依頼の連絡をする

地域との応援体制を確保しておく

- ① 平時にやっておくべきことを決める
- ② いつ避難するか決める
- ③ ②が決まったら、それまでに何をどのタイミングで行うかを決めていく

# タイムラインを作成しよう！・・・考えるヒント

- 情報収集や情報伝達、防災体制の確立、装備品等の準備、避難誘導の実施などの**防災行動を時系列で整理し、タイムラインを作成**しておきましょう。
- タイムラインは、日中や夜間といった避難する時間帯、施設の特徴などに応じて、**複数のケースのものを作成**しておくことが必要です。

施設型タイムラインの概要		統括指揮者	情報連絡班	避難誘導班	装備品等準備班
発災までの時間の目安	防災気象情報、避難情報				
1～3日前	<b>■早期注意情報</b> (警戒レベル1) (警報級の可能性)	・状況把握、指揮 ・体制確立の判断 ・事前休業の判断	・気象情報等収集 ・施設職員への情報伝達	・(避難誘導体制の確認) ・(避難ルートの確認)	・(避難に必要な設備や装備品、備蓄品、避難先への持ち出し品等を点検し準備)
9～12時間前	<b>■大雨注意報</b> <b>■洪水注意報</b> <b>■高潮注意報</b>	・状況把握、指揮 ・施設職員等召集 ・避難開始の判断 ・(避難開始判断)	・気象情報、水位情報、避難情報、避難先情報等の収集 ・施設職員や避難支援協力者への連絡	・避難誘導体制の確認 ・避難ルートの確認 ・(避難誘導開始)	・避難に必要な設備や装備品、備蓄品、避難先への持ち出し品等を点検し準備 ・移動用車両の手配
4～6時間前	<b>■高齢者等避難</b> <b>■洪水警報</b> <b>■氾濫警戒情報</b> <b>■大雨警報(土砂災害)</b> <b>■高潮注意報</b>	・状況把握、指揮 ・避難開始判断	・気象情報、水位情報、避難情報等の収集 ・利用者家族等への連絡 ・市町村等への連絡	・避難誘導開始	・要配慮者等の装備品の装着 ・移動用車両の確保 ・避難先への持ち出し品等を運搬
3時間前	<b>避難完了</b>				
2～3時間前	<b>■避難指示</b> <b>■氾濫危険情報</b> <b>■高潮特別警報</b> <b>■土砂災害警戒情報</b> <b>■高潮警報</b>	・状況把握、指揮 ・避難先での施設利用者の支援の監督 ・(緊急安全確保の判断)	・市町村等への連絡	・避難完了の確認 ・避難先での施設利用者の支援	・避難先での持ち出し品等の管理
発災直前	<b>■緊急安全確保</b> <b>■大雨特別警報</b> <b>■氾濫発生情報</b>	・緊急安全確保			



# 千寿園における避難の課題

項目	千寿園の避難計画	課題
計画の対象	土砂災害を想定した内容。	<ul style="list-style-type: none"> <li>洪水による浸水に対応できていない。</li> <li>⇒洪水浸水想定(想定最大規模)を踏まえた避難計画にすることが必要。</li> </ul>
職員配置	災害警報が発表された場合の体制として12名配置。	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難誘導するための職員が参集できなかった。</li> <li>⇒早めの参集が必要。最小限の人数で誘導できる設備や体制等を考えておくことが必要。</li> </ul>
協力者への要請	協力者として22名を計画し、大雨警報や避難情報発令時に協力者への事前協力の要請実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>協力者への要請をしなかった。</li> <li>⇒要請のタイミング等を明確化し、事前に訓練を実施しておくことが必要。</li> </ul>
避難開始	避難準備・高齢者等避難開始が発令された場合に避難誘導。	<ul style="list-style-type: none"> <li>2階への垂直避難のタイミングが遅かった。</li> <li>⇒洪水浸水想定(想定最大規模)を踏まえた避難計画にすることが必要。</li> </ul>
避難先	立ち退き避難先として、①千寿園駐車場、②渡小学校運動場・体育館、③球磨村総合運動公園桜ドームを設定。屋外避難が危険な場合は施設内に避難。	<ul style="list-style-type: none"> <li>渡小学校体育館、球磨村総合運動公園桜ドームは、避難準備・高齢者等避難開始の時点で開所していない。夜間や大雨時には施設内での避難を想定していた。</li> <li>⇒現実的な避難先を設定しておくことが必要。</li> </ul>
避難方法	立ち退き避難の方法は、車両11台使用。施設内に避難する場合は、担架および徒手(2人支持)による。	<ul style="list-style-type: none"> <li>2階への垂直避難に時間を要した。</li> <li>⇒エレベーターやスロープ等を設置し迅速な避難を可能とすることが必要。</li> </ul>
訓練	職員入職時の研修、毎年2回(5月、11月)避難誘導訓練を実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>渡小学校体育館、球磨村総合運動公園桜ドームへの立ち退き避難の訓練は実施していない。</li> <li>⇒現実的な避難先を設定しておくことが必要。</li> </ul>

本資料は、千寿園から聞き取った内容を要約して記載